

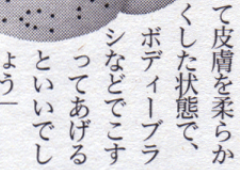
赤ちゃんとのおしりの悩みがいろいろあります。

おしりの悩み

おしりがザラザラしてるんですけど……

おしりの表面がザラザラ、ブツブツのチキン肌状態。これっていったい、なんなの？

「それは毛穴が角化しザラザラする毛孔性角化症というもので、足のかかとが硬くなってザラザラするのと同じような状態がおしりに起こっているわけです。こういう場合は尿素入りの軟膏を塗って皮膚を柔らかくした状態で、ボディークリームなどでこすってあげるといいですよ」



おしりがポコポコになってるんですけど……

「太ると皮膚は伸びて薄くなる。そこに中の脂肪が浮き上がった状態、セルライトが原因です。その部分を叩いたりマッサージをして皮膚を厚くすれば目立たなくなるでしょう」



おしりに毛が生えてるんですけど……

「成長ホルモンを飼料にした家畜の肉などの影響で、産毛や体毛の濃さに悩む女性は年々、増えています。おしりの毛も、そんな食生活の変化で男性ホルモンが増加した結果。だからといって毛を作るおおもとの細胞を壊す方法の永久脱毛は、皮膚などを作る細胞も破壊し、皮膚がんの原因になりかねません。サロンなどで処理する場合は細胞を破壊しつくさぬ脱毛法で。自宅で処理する場合は、カミソリで剃ると濃くなるので、オキシドールを塗り10分後に洗い流す脱色法がおすすめです」



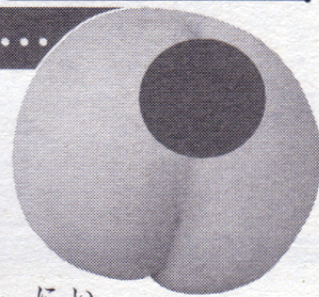
大城クリニック院長
おしりのお悩み
大城俊夫先生

医学博士。1939年生まれ。'65年慶應義塾大学医学部卒業後、同医学部形成外科入局。米国シンシナティ大学でレーザー治療を学び'76年大城クリニックを開業。レーザー治療の第一人者。

おしりに蒙古斑があるんですけど……

皮膚表面から0.6〜0.7ミリの深さにあります。これは赤色の血管が青、緑色に見えるのと同様、その深さによって青く見えるわけで、これが1ミリの深さになると表からは見えなくなる。つまり蒙古斑は消えてしまうのではなく、大人になるにつれ、おしりの皮膚が厚くなり、深いところに沈みこんでしまっただけ。そういう意味では、成人しても蒙古斑が残っている人は、わりと浅い部分に色素がある人、おしりに肉がついていないやせ型の人に多いような気がしますね」

おしりに肉がつけば変化も期待できるらしいが、「蒙古斑は、本来は表皮のメラニン細胞に変わるべきものが、その過程でおしりの部分にとどまった未分化細胞。18才〜20才の自衛隊員を対象に行った調査では、2%の人に蒙古斑が残っている結果もあり、悩む女性も少なくありませんが、レーザーできれいに消すことも可能です。専門医に相談するのもいいですよ」



東洋人の赤ちゃんの特徴ともいえる蒙古斑。でも、成人しても消えないのは私だけ？

「東洋人の95〜97%の赤ちゃんのおしりにあるという蒙古斑は、モンゴロイドの特徴といわれていますが、ほとんどの場合は大人になるにつれ、自然に退色します。本来、蒙古斑は黒い色素で、皮膚表面から0.6〜0.7ミリの深さにあります。これは赤色の血管が青、緑色に見えるのと同様、その深さによって青く見えるわけで、これが1ミリの深さになると表からは見えなくなる。つまり蒙古斑は消えてしまうのではなく、大人になるにつれ、おしりの皮膚が厚くなり、深いところに沈みこんでしまっただけ。そういう意味では、成人しても蒙古斑が残っている人は、わりと浅い部分に色素がある人、おしりに肉がついていないやせ型の人に多いような気がしますね」



⑨P113以外のおしりは「桃」です。あしからず。